

## 地方会議（鳥取県米子市）

### 1. 日時、場所

平成24年3月18日（日） 13時30分～15時30分  
米子商工会議所7階会議室

### 2. 参加者

地元の若手・女性の中小企業経営者等 90名  
経済産業省 牧野 聖修 経済産業副大臣 他

### 3. 参加者の意見

#### （1）出された意見数（課題別）

全体意見数	35
資金調達	0
経営指導・経営支援	11
技術力・人材（技能承継等）	5
取引関係（下請取引・流通構造等）	0
販路開拓（海外展開等）	3
若手・青年層の活力発揮	2
女性層の活力発揮	0
「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）	6
その他	8

#### （2）主な意見

##### 【経営指導・経営支援】

- ・ サポインは、とんがった（最先端）技術開発に指向しすぎている。中古品を組み合わせで行う場合も対象にするべき。
- ・ 新規のものだけでなく、既存の機械の改造も補助金の対象にしてもらいたい。
- ・ 経営資本の強みを持ち寄る企業間・団体間連携の促進のため、広範なアドバイス、ビジネスマッチング支援の拡充をお願いしたい。

##### 【技術力・人材（技能承継等）】

- ・ 日本のものづくりの強さは、中小企業の集積の総合力。集積は大事であり、これに沿った政策をお願いしたい。
- ・ 「まんが王国」など鳥取の特性を活かした成長分野としてのコンテンツ産業やITの振興が必要。クリエイター等人材育成が必要。

- ・ 経営革新計画の認定は、各県によって基準が違っているため、統一基準が必要ではないか。

#### 【販路開拓（海外展開等）】

- ・ 海外に商品を出す場合、国毎に検疫の内容や有機認証のルールも異なるため、体力の弱い中小企業では対応が出来ず、多品種を卸せない状況にある。

#### 【若手・青年層の活力発揮】

- ・ 若手経営者の育成に、経営革新塾、創業塾が役立ったが、これが無くなってしまい取組が停滞。

#### 【「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）】

- ・ 空き店舗対策は、3千万円以上のものでないと補助対象とならない。1千万円くらいから支援を受けられるようにして欲しい。
- ・ アーケードを新しく作り直す場合は、2／3補助と言わず、4／5、95%でも助成をお願いしたい。
- ・ 個別の商店にスポットを当てた支援ではなく、常時街中を人が歩く仕組みづくりなど根本的なところに目を向けてほしい。

#### 【その他】

- ・ 介護サービスを振興するための規制の見直しが必要。・ 中小企業と小規模企業を1つの施策で括られると、小規模企業にはハードルが非常に高いということになる。